



# 汐見の和

横浜市立汐見台小学校  
令和5年8月28日  
学校だより 9月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子  
電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409  
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



新しい生活のスタート！

校長 犬塚 真

今回の巻頭言のタイトルをあえて令和2年度9月の学校だよりと同じにさせていただきました。旧校舎からプレハブの仮校舎に移ったのがちょうど3年前の夏休み明けで、その時の学校だよりには次のような文章がありました。

登校初日、旧校舎からはじめて仮校舎に入る朝、「どんな校舎かな、早く見たいな」と、ワクワクしながらいつもより少し早めに家を出てきた子どもたち、昇降口で担任から新しい教室の場所を教えてもらい、興味津々でそれぞれ自分の教室に向かいました。大きな混乱もなく、無事に教室にたどり着きました。新校舎が完成するまでの3年間、仮校舎での生活がいよいよ始まりました。

(執筆は 上野知己 前校長)

当時、本校の副校長として仮校舎の建設や移転作業にかかわっていたときのことを懐かしく思い出すとともに、子どもたちが今回一段と大きな驚きや喜びに沸く姿が目に見えます。

現在の4、5、6年生は旧校舎での学校生活と仮校舎への移転を経験しているので、2度目の新しい生活をスタートさせることとなります。1年生から3年生の子どもたちにとっては、初めての移転であるとともに、汐見台小学校といえば入学以来過ごしてきたプレハブの校舎ということになりますので、その仮校舎への愛着も格別だったのではないのでしょうか。夏休み前の最終日に行った「仮校舎ありがとう集会」でも、そのような子どもたちの思いが伝わってきました。

教職員の中にも2度の移転作業を経験した者が数多くいます。夏の暑い時期ということもあり、梱包作業だけでもかなりの重労働でしたが、一度目に比べると物量も少なく、今回はコロナ対策に神経を使うこともなかったので、作業の合間には笑い声も聞かれ、和やかな雰囲気を維持しながらこの大きな任務を遂行することができました。このようなところで身内を褒めるのもいかなものかとは思いますが、明るくて頼りになるすばらしい教職員に恵まれたという感謝の念をあらためて抱きました。

また、7月11日、19日、25日と8月23日には、のべ100名を超える保護者のボランティアの皆様にお越しいただき、教室のワックスがけや清掃、物品の移動等、多岐にわたるお手伝いをさせていただきました。心よりお礼申し上げます。皆様と力を合わせて仕上げたこの校舎を、子どもたちとともに大切に使っていきます。

この夏休みの間、移転作業と並行して子どもたちの避難経路をはじめ、登下校や給食時の動線や清掃分担等を整えてきました。靴箱や各教室の準備も万端です。また、今回は新校舎でみんなが安全かつ快適に過ごせるよう、学校生活の約束事をわかりやすくまとめた動画を作成しました。8月28日に全校で視聴します。今後も、安全上のきまりと豊かで楽しい施設の活用のバランスを鑑みながら、子どもたちの学校生活を創造していきます。

保護者の皆様、地域の皆様の寛大なご理解と多大なご協力をいただきながら、ここまでやって来ることができました。ここから先は、仮校舎の解体、プールの建替えや校庭整備などが行われます。また、校舎の周りにはこれからたくさんの樹木が植えられていきます。四季折々の花々が咲き、子どもたちの情操や学びをより豊かにしてくれることでしょう。すべての工事が終了するのは、令和7年度の予定です。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。